

福祉学科 カリキュラムマップ

科目比重配分 ○(0.6以上),○(0.3以上),△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
知識・理解	社会福祉学の基礎を学ぶ	社会福祉学の基礎を磨く	社会福祉学の専門性を学ぶ	社会福祉学の専門性を獲得する	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。 3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的スキルを身につけることができる。 4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。 5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ びんご福祉学 ○ ペットと人間福祉学 ○ 社会保障入門 ○ 映画から考える社会福祉 ○ 社会学と社会システム ○ 心理学と心理的支援 ○ 社会福祉の原理と政策I ○ カウンセリング ○ 福祉英語 ○ 福祉倫理 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 社会福祉の原理と政策II ◎ ソーシャルワークの基盤と専門職 ◎ ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ◎ ソーシャルワークの理論と方法I ◎ ソーシャルワークの理論と方法II ◎ 貧困に対する支援 ◎ 児童・家庭福祉 ◎ 障害者福祉 ◎ 高齢者福祉 ◎ 社会保障I ◎ 社会保障II ◎ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習 ○ ソーシャルワーク演習(専門)I ◎ 福祉用具専門相談員論I ◎ 福祉用具専門相談員論II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ソーシャルワークの理論と方法(専門)I ◎ ソーシャルワークの理論と方法(専門)II ◎ 保健医療と福祉 ○ 社会福祉調査の基礎 ◎ 福祉サービスの組織と経営 ◎ 権利擁護を支える法制度 ○ 地域福祉と包括的支援体制I ○ 地域福祉と包括的支援体制II ◎ 刑事司法と福祉 ○ ソーシャルワーク演習(専門)II ○ ソーシャルワーク演習(専門)III ○ ソーシャルワーク実習指導I ○ ソーシャルワーク実習指導II ○ ソーシャルワーク実習I ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 ◎ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワーク演習(専門)IV ○ ソーシャルワーク実習指導III ○ ソーシャルワーク実習II ○ 刑事司法福祉特講 ◎ 子ども家庭福祉特講 ◎ 福祉研究A ◎ 福祉研究B ◎ 福祉研究C ◎ 福祉研究D 	
	○ 基礎演習I	△ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II	
	介護福祉学の基礎を学ぶ	介護福祉学の基礎を磨く	介護福祉学の専門性を学ぶ	介護福祉学の専門性を獲得する	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 ◎ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I ○ 介護技術I ○ 介護技術II ○ 介護実習指導I 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 介護福祉学II ◎ 余暇生活支援法II ◎ 認知症の理解I ○ 認知症の理解II ◎ こころとからだのしくみI ◎ こころとからだのしくみII ◎ 介護過程I ○ 介護過程II △ 介護過程III ◎ リハビリテーション論 ○ コミュニケーション技術I ○ 障害の理解I ○ 介護技術III ○ 介護技術IV ◎ 生活支援技術I ○ 介護実習指導II △ 介護実習指導III ○ 介護実習I ○ 介護実習II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ こころとからだのしくみIII ◎ 介護過程IV ○ 介護過程V ○ コミュニケーション技術II ○ 障害の理解II ◎ リスクマネジメント論 ◎ 生活支援技術II ○ 生活支援技術III ◎ 生活支援技術VI ○ 介護実習指導IV ○ 介護実習III ○ 介護実習IV ◎ 医療的ケアI 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援技術IV ○ 生活支援技術V ◎ 医療的ケアII △ 医療的ケアIII 		
福祉援助技術の基礎を学ぶ	対象に応じた福祉援助技術を学ぶ	福祉援助技術の専門性を高める	福祉援助技術の実践力を獲得する		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 福祉英語 	<ul style="list-style-type: none"> △ 医学概論 △ ソーシャルワーク演習 △ ソーシャルワーク演習(専門)I △ 福祉用具専門相談員論I ○ 福祉用具専門相談員論II 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉調査の基礎 △ 地域福祉と包括的支援体制I △ 地域福祉と包括的支援体制II △ ソーシャルワーク演習(専門)II △ ソーシャルワーク演習(専門)III △ ソーシャルワーク実習指導I △ ソーシャルワーク実習指導II △ ソーシャルワーク実習I ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 △ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 	<ul style="list-style-type: none"> △ ソーシャルワーク演習(専門)IV △ ソーシャルワーク実習指導III △ ソーシャルワーク実習II ○ 刑事司法福祉特講 		
△ 基礎演習I	○ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II		
技能					

福祉学科 カリキュラムマップ

科目比重配分 ◎(0.6以上),○(0.3以上),△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
技 能	生活支援技術の基礎を学ぶ ○ 社会福祉援助技術論 △ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I ○ 介護技術I ○ 介護技術II △ 介護実習指導I	利用者に応じた生活支援技術を学ぶ △ 介護福祉学II ○ 余暇生活支援法II △ 認知症の理解I △ 認知症の理解II △ ことごとからだのしくみI △ ことごとからだのしくみII ○ 介護過程II ◎ 介護過程III △ リハビリテーション論 ○ コミュニケーション技術I ○ 障害の理解I ○ 介護技術III ○ 介護技術IV ○ 生活支援技術I △ 介護実習指導II ◎ 介護実習指導III ○ 介護実習I △ 介護実習II	生活支援技術の専門性を高める △ ことごとからだのしくみIII ○ 介護過程IV ○ 介護過程V ○ コミュニケーション技術II ○ 障害の理解II △ リスクマネジメント論 ○ 生活支援技術II ○ 生活支援技術III ○ 生活支援技術VI ○ 介護実習指導IV ○ 介護実習III ○ 介護実習IV △ 医療的ケアI	生活支援技術の実践力を獲得する ○ 生活支援技術IV ○ 生活支援技術V △ 医療的ケアII ◎ 医療的ケアIII	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。
	福祉援助の現状と将来像を学ぶ ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ びんご福祉学 ○ ペットと人間福祉学 △ 社会保険入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 心理学と心理的支援	根拠に基づく福祉援助技術を身につける ○ ソーシャルワークの基盤と専門職 ○ ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) △ 貧困に対する支援 ○ 児童・家庭福祉 △ 高齢者福祉 △ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習 ○ ソーシャルワーク演習(専門)I △ 福祉用具専門相談員論I △ 福祉用具専門相談員論II	多職種との連携・協働を身につける ○ 社会福祉調査の基礎 ○ 地域福祉と包括的支援体制I ○ 地域福祉と包括的支援体制II ○ ソーシャルワーク演習(専門)II ○ ソーシャルワーク演習(専門)III ○ ソーシャルワーク実習指導I ○ ソーシャルワーク実習指導II ○ ソーシャルワーク実習I △ 認知症カフェ運営特講 △ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 △ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 △ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療福祉マネジメント特講	福祉援助の実践力を身につける ○ ソーシャルワーク演習(専門)IV ○ ソーシャルワーク実習指導III ○ ソーシャルワーク実習II △ 刑事司法福祉特講 ○ 子ども家庭福祉特講 △ 福祉研究A △ 福祉研究B △ 福祉研究C △ 福祉研究D	3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者(ソーシャルワーカー、ケアワーカー)としての専門的技術を身につけることができる。 4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
態 度 ・ 志 向 性	△ 基礎演習I	○ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II	
	介護福祉士の現状と将来像を学ぶ ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 △ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I △ 介護技術I △ 介護技術II ○ 介護実習指導I	根拠に基づくケアを身につける △ 介護福祉学II △ 余暇生活支援法II △ 認知症の理解I ○ 認知症の理解II △ ことごとからだのしくみI △ ことごとからだのしくみII △ 介護過程II △ 介護過程III △ リハビリテーション論 △ 障害の理解I △ 介護技術III △ 介護技術IV △ 生活支援技術I ○ 介護実習指導II △ 介護実習指導III ○ 介護実習I ○ 介護実習II	多職種との連携・協働を身につける △ ことごとからだのしくみIII △ 介護過程IV △ 介護過程V △ 障害の理解II △ 生活支援技術II △ 生活支援技術III △ 生活支援技術VI △ 介護実習指導IV △ 介護実習III ○ 介護実習IV △ 医療的ケアI	組織内、地域での実践力を身につける △ 医療的ケアII △ 医療的ケアIII	5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。
教 職	教職概論	教育原理 教育心理学 教育課程論 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 人権論	教育制度論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 進路・キャリア演習 教育実習指導 教育実習II	教職実践演習	

福祉学科(介護福祉専攻) カリキュラムマップ

科目比重配分 ◎(0.6以上),○(0.3以上),△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
知識・ 理解	社会福祉学の基礎を学ぶ	社会福祉学の基礎を磨く	社会福祉学の専門性を学ぶ	社会福祉学の専門性を獲得する	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。 3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者(ソーシャルワーカー、ケアワーカー)としての専門的技術を身につけることができる。 4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。 5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ◎ びんご福祉学 ◎ ペットと人間福祉学 ◎ 社会保障入門 ◎ 映画から考える社会福祉 ◎ 社会学と社会システム ◎ 心理学と心理的支援 ◎ 社会福祉の原理と政策I ◎ カウンセリング ◎ 福祉英語 ◎ 福祉倫理 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 社会福祉の原理と政策II ◎ ソーシャルワークの基盤と専門職 ◎ ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ◎ 高齢者福祉 ◎ 医学概論 ◎ ソーシャルワーク演習 ◎ 福祉用具専門相談員論I ○ 福祉用具専門相談員論II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ソーシャルワークの理論と方法I ◎ ソーシャルワークの理論と方法II ◎ 貧困に対する支援 ◎ 児童・家庭福祉 ◎ 障害者福祉 ◎ 社会保障I ◎ 社会保障II ○ 地域福祉と包括的支援体制I ○ 地域福祉と包括的支援体制II ○ ソーシャルワーク演習(専門)I ○ ソーシャルワーク演習(専門)II ○ ソーシャルワーク実習指導I ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 ◎ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ソーシャルワークの理論と方法(専門)I ◎ ソーシャルワークの理論と方法(専門)II ◎ 保健医療と福祉 ○ 社会福祉調査の基礎 ◎ 福祉サービスの組織と経営 ◎ 権利擁護を支える法制度 ◎ 刑事司法と福祉 ◎ ソーシャルワーク演習(専門)III ○ ソーシャルワーク演習(専門)IV ○ ソーシャルワーク実習指導II ○ ソーシャルワーク実習指導III ○ ソーシャルワーク実習I ○ ソーシャルワーク実習II ○ 刑事司法福祉特講 ◎ 子ども家庭福祉特講 ◎ 福祉研究A ◎ 福祉研究B ◎ 福祉研究C ◎ 福祉研究D 	
	◎ 基礎演習I	△ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II	
介護福祉学の基礎を学ぶ	介護福祉学の基礎を磨く	介護福祉学の専門性を学ぶ	介護福祉学の専門性を獲得する		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉援助技術論 ◎ 発達と老化の理解 ◎ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I ○ 介護技術I ○ 介護技術II ○ 介護実習指導I 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 介護福祉学II ◎ 余暇生活支援法II ◎ 認知症の理解I ○ 認知症の理解II ◎ ころとからだのしくみI ◎ ころとからだのしくみII ◎ 介護過程I ○ 介護過程II △ 介護過程III ◎ リハビリテーション論 ◎ コミュニケーション技術I ○ 障害の理解I ○ 介護技術III ○ 介護技術IV ◎ 生活支援技術I ○ 介護実習指導II △ 介護実習指導III ○ 介護実習I ○ 介護実習II 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ころとからだのしくみIII ◎ 介護過程IV ○ 介護過程V ○ コミュニケーション技術II ○ 障害の理解II ◎ リスクマネジメント論 ◎ 生活支援技術II ○ 生活支援技術III ◎ 生活支援技術VI ○ 介護実習指導IV ○ 介護実習III ○ 介護実習IV ◎ 医療的ケアI 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援技術IV ○ 生活支援技術V ◎ 医療的ケアII △ 医療的ケアIII 		
福祉援助技術の基礎を学ぶ	対象に応じた福祉援助技術を学ぶ	福祉援助技術の専門性を高める	福祉援助技術の実践力を獲得する		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 福祉英語 	<ul style="list-style-type: none"> △ 医学概論 △ ソーシャルワーク演習 △ 福祉用具専門相談員論I ○ 福祉用具専門相談員論II 	<ul style="list-style-type: none"> △ 地域福祉と包括的支援体制I △ 地域福祉と包括的支援体制II △ ソーシャルワーク演習(専門)I △ ソーシャルワーク演習(専門)II △ ソーシャルワーク実習指導I ○ 認知症カフェ運営特講 ○ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 ○ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 △ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉調査の基礎 △ ソーシャルワーク演習(専門)III △ ソーシャルワーク演習(専門)IV △ ソーシャルワーク実習指導II △ ソーシャルワーク実習指導III △ ソーシャルワーク実習I △ ソーシャルワーク実習II ○ 刑事司法福祉特講 		
△ 基礎演習I	○ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II		
技 能					

福祉学科(介護福祉専攻) カリキュラムマップ

科目比重配分 ◎(0.6以上),○(0.3以上),△(0.1以上)

領域	1年 福祉の価値・態度について学ぶ	2年 知識・技術を習得	3年 専門性を高める	4年 職業人の育成	目標
技能	生活支援技術の基礎を学ぶ	利用者に応じた生活支援技術を学ぶ	生活支援技術の専門性を高める	生活支援技術の実践力を獲得する	1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。 2. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉援助技術論 △ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I ○ 介護技術I ○ 介護技術II △ 介護実習指導I 	<ul style="list-style-type: none"> △ 介護福祉学II ○ 余暇生活支援法II △ 認知症の理解I △ 認知症の理解II △ ことごとからだのしくみI △ ことごとからだのしくみII ○ 介護過程II ◎ 介護過程III △ リハビリテーション論 ○ コミュニケーション技術I ○ 障害の理解I ○ 介護技術III ○ 介護技術IV ○ 生活支援技術I △ 介護実習指導II ◎ 介護実習指導III ○ 介護実習I △ 介護実習II 	<ul style="list-style-type: none"> △ ことごとからだのしくみIII ○ 介護過程IV ○ 介護過程V ○ コミュニケーション技術II ○ 障害の理解II △ リスクマネジメント論 ○ 生活支援技術II ○ 生活支援技術III ○ 生活支援技術VI ○ 介護実習指導IV ○ 介護実習III ○ 介護実習IV △ 医療的ケアI 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援技術IV ○ 生活支援技術V △ 医療的ケアII ◎ 医療的ケアIII 	
態度・志向性	福祉援助の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づく福祉援助技術を身につける	多職種との連携・協働を身につける	福祉援助の実践力を身につける	3. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者(ソーシャルワーカー、ケアワーカー)としての専門的技術を身につけることができる。 4. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉健康科学入門 ○ ボランティア活動入門 ○ びんご福祉学 ○ ペットと人間福祉学 △ 社会保障入門 △ 映画から考える社会福祉 ○ 心理学と心理的支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワークの基盤と専門職 ○ ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) △ 高齢者福祉 △ 医学概論 ○ ソーシャルワーク演習 △ 福祉用具専門相談員論I △ 福祉用具専門相談員論II 	<ul style="list-style-type: none"> △ 貧困に対する支援 ○ 児童・家庭福祉 ○ 地域福祉と包括的支援体制I ○ 地域福祉と包括的支援体制II ○ ソーシャルワーク演習(専門)I ○ ソーシャルワーク演習(専門)II ○ ソーシャルワーク実習指導I △ 認知症カフェ運営特講 △ ノーマライゼーション特講 ○ 災害ソーシャルワーク特講 △ 貧困問題と福祉行政キャリア特講 △ 国際社会福祉特講 ○ 医療ソーシャルワーク特講 ○ 医療・福祉マネジメント特講 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉調査の基礎 ○ ソーシャルワーク演習(専門)III ○ ソーシャルワーク演習(専門)IV ○ ソーシャルワーク実習指導II ○ ソーシャルワーク実習指導III ○ ソーシャルワーク実習I ○ ソーシャルワーク実習II △ 刑事司法福祉特講 ○ 子ども家庭福祉特講 △ 福祉研究A △ 福祉研究B △ 福祉研究C △ 福祉研究D 	
	△ 基礎演習I	○ 基礎演習II	○ 専門演習I	○ 専門演習II	
介護福祉士の現状と将来像を学ぶ	根拠に基づくケアを身につける	多職種との連携・協働を身につける	組織内、地域での実践力を身につける	5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉援助技術論 ○ 発達と老化の理解 △ 介護福祉学I ○ 余暇生活支援法I △ 介護技術I △ 介護技術II ○ 介護実習指導I 	<ul style="list-style-type: none"> △ 介護福祉学II △ 余暇生活支援法II △ 認知症の理解I ○ 認知症の理解II △ ことごとからだのしくみI △ ことごとからだのしくみII △ 介護過程II △ 介護過程III △ リハビリテーション論 △ 障害の理解I △ 介護技術III △ 介護技術IV △ 生活支援技術I ○ 介護実習指導II △ 介護実習指導III ○ 介護実習I ○ 介護実習II 	<ul style="list-style-type: none"> △ ことごとからだのしくみIII △ 介護過程IV △ 介護過程V △ 障害の理解II △ 生活支援技術II △ 生活支援技術III △ 生活支援技術VI △ 介護実習指導IV △ 介護実習III ○ 介護実習IV △ 医療的ケアI 	<ul style="list-style-type: none"> △ 医療的ケアII △ 医療的ケアIII 		
教職	教職概論	教育原理 教育心理学 教育課程論 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 人権論	教育制度論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 進路・キャリア演習 教育実習指導 教育実習II	教職実践演習	